SAMPLE

RIM INTELLIGENCE CO.

フェアな価格　確かな信頼

ローリーラック

Lorry Rack

試読　>

お申し込み　>

☆RIM LORRY RACK PRICE INTELLIGENCE DAILY
★No.6349 Feb 28 2025
Copyright(C) 2025 RIM Intelligence Co. All rights reserved
「リム価格」は登録商標です　登録番号・第5387777号
「4リム価格」は登録商標です　登録番号・第5660925号
「リムラック価格」は登録商標です　登録番号・第5660926号

◎お知らせ

○PRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2024年12月19日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。
＜対象レポート＞バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力
https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/

◎エネルギー通信2月号の発行と「立ち寄りセミナー(オンデマンド)」のお知らせ

リム情報開発は20日、エネルギーの「いま」をまとめて把握できる季刊誌『エネルギー通信』23号を発行しました。今号では、政府が2月18日に閣議決定した第7次エネルギー基本計画の内容を整理したうえ、日本が重視していくことが示されたクリーンエネルギーの最新動向をまとめました。エネルギー通信はWEBで閲覧いただくことができます。お申し込みはこちらから：
https://www.rim-intelligence.co.jp/report/nl/
また、エネルギー通信の内容を凝縮した「立ち寄りセミナー」を開催します。コロナ禍に始まった立ち寄りセミナーがオンデマンド形式で復活します。今号のポイントを整理しわかりやすく解説いたします。セミナーの詳細や視聴のお申込みはこちらから：
https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/seminar20250219/

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

28日のレックス22は、前日から0.27ポイント下落し166.04です。

----------リムレポートのご紹介----------

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。　https://www.rim-intelligence.co.jp/report/

油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル	
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG	LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力	
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File	
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信	
液体バイオ燃料(週刊)			

RIM INTELLIGENCE Lorry Rack
3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

東京時間2025年2月28日金曜日17時30分<Assessment Closing Time>

◎東名阪製油所出しローリーラック市況（EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内）

油種	千葉	中値	前日比	川崎	中値	前日比	京浜中値	前日比
ガソリン#	138.5～139.5	139.00	+0.55	139.5～140.0	139.75	+0.75	139.38	+0.65
ガソリン	84.7～ 85.7	85.20	+0.55	85.7～ 86.2	85.95	+0.75	85.58	+0.65
灯油	86.0～ 87.0	86.50	+1.05	86.0～ 87.0	86.50	+1.05	86.50	+1.05
課税軽油	85.0～ 86.0	85.50	0.00	85.0～ 86.0	85.50	0.00	85.50	0.00
未課税軽油	86.8～ 87.5	87.15	+1.05	86.8～ 87.5	87.15	+0.65	87.15	+0.85
A重油	85.8～ 86.5	86.15	0.00	85.8～ 86.5	86.15	0.00	86.15	0.00
LSA重油	86.3～ 87.0	86.65	0.00	86.3～ 87.0	86.65	0.00	86.65	0.00

油種	中京	中値	前日比	阪神	中値	前日比	4リム中値	前日比
ガソリン#	138.5～139.5	139.00	+0.20	139.0～139.8	139.40	+1.65	139.29	+0.79
ガソリン	84.7～ 85.7	85.20	+0.20	85.2～ 86.0	85.60	+1.65	85.49	+0.79
灯油	85.7～ 86.7	86.20	+0.20	86.3～ 86.9	86.60	+0.70	86.45	+0.75
課税軽油	85.4～ 86.0	85.70	0.00	85.5～ 86.0	85.75	-0.75	85.61	-0.19
未課税軽油	87.0～ 87.5	87.25	+0.85	87.4～ 87.6	87.50	+0.50	87.26	+0.76
A重油	85.9～ 86.5	86.20	+0.60	85.9～ 86.5	86.20	0.00	86.18	+0.15
LSA重油	86.4～ 87.0	86.70	+0.60	86.4～ 87.0	86.70	0.00	86.68	+0.15

◎東名阪油槽所出しローリーラック市況（EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内）

油種	八潮	中値	前日比	横浜	中値	前日比	京浜中値	前日比
ガソリン#	140.9～141.2	141.05	+0.60	140.0～141.0	140.50	0.00	140.78	+0.30
ガソリン	87.1～ 87.4	87.25	+0.60	86.2～ 87.2	86.70	0.00	86.98	+0.30
灯油	88.5～ 89.0	88.75	+1.30	86.6～ 87.0	86.80	+1.05	87.78	+1.18
軽油	87.7～ 88.0	87.85	+0.35	85.2～ 85.8	85.50	+0.25	86.68	+0.30
LSA重油	87.3～ 87.8	87.55	+0.25	87.0～ 87.5	87.25	0.00	87.40	+0.12

油種	中京	中値	前日比	阪神	中値	前日比	油槽所中値	前日比
ガソリン#	138.1～139.0	138.55	+0.60	139.0～139.7	139.35	+1.60	139.86	+0.70
ガソリン	84.3～ 85.2	84.75	+0.60	85.2～ 85.9	85.55	+1.60	86.06	+0.70
灯油	86.9～ 87.1	87.00	+0.95	85.9～ 86.8	86.35	+0.40	87.23	+0.93
軽油	85.8～ 86.7	86.25	+0.80	86.6～ 87.6	87.10	+0.40	86.68	+0.45
LSA重油	87.0～ 87.6	87.30	+0.05	86.6～ 87.2	86.90	0.00	87.25	+0.07

※ガソリン#は揮発油税込み価格、ガソリンは揮発油税抜き価格
※前日比は中値ベース
※中値は小数点第3位を四捨五入
※製油所の京浜中値は千葉・川崎中値の単純平均値
※4リム中値は千葉・川崎・中京・阪神製油所の単純平均値
※油槽所の京浜中値は八潮、横浜中値の単純平均値
※油槽所中値は八潮、横浜、中京、阪神の単純平均値
※4リム中値を使用した月間平均値はスペシャルコンテンツの4製油所月間平均値と誤差が生じる場合があります
※公式のリム価格月間平均値はスペシャルコンテンツ掲載の数値となります
※ローリーラック価格、輸入採算価格、海陸市況格差、先物のガソリンはレギュラーが対象で揮発油税53.8円を含まず
※軽油は軽油引取り税32.1円を含まず
※原油輸入平均CIF価格の r は修正
※為替は三菱UFJ銀行が午前10時30分に発表する数値を使用

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎東名阪製油所・油槽所出し中値平均値（EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内）

油種	京浜地区	前日比	中京地区	前日比	阪神地区	前日比
ガソリン#	140.08	+0.48	138.78	+0.40	139.38	+1.63
ガソリン	86.28	+0.48	84.98	+0.40	85.58	+1.63
灯油	87.14	+1.11	86.60	+0.57	86.48	+0.55
軽油	86.44	+0.38	86.40	+0.55	86.78	+0.05
A重油	86.15	0.00	86.20	+0.60	86.20	0.00
LSA重油	87.03	+0.07	87.00	+0.32	86.80	0.00

※ガソリン#は揮発油税込み価格、ガソリンは揮発油税抜き価格
※A重油は製油所平均値

◎その他の製油所・油槽所出しローリーラック市況（EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内）

油種	北海道	中値	前日比	仙台	中値	前日比
ガソリン#	141.0～142.0	141.50	0.00	140.5～141.0	140.75	-0.05
ガソリン	87.2～ 88.2	87.70	0.00	86.7～ 87.2	86.95	-0.05
灯油	86.8～ 87.8	87.30	+1.00	86.5～ 87.2	86.85	+0.30
軽油	86.2～ 87.2	86.70	+0.20	86.0～ 86.5	86.25	+0.10
A重油	86.5～ 87.0	86.75	+0.65	86.5～ 86.8	86.65	+0.50
LSA重油	-	-	-	87.0～ 87.3	87.15	+0.50

油種	四国	中値	前日比	福岡	中値	前日比
ガソリン#	140.5～140.8	140.65	+0.35	141.3～141.6	141.45	+0.65
ガソリン	86.7～ 87.0	86.85	+0.35	87.5～ 87.8	87.65	+0.65
灯油	87.5～ 88.0	87.75	-0.70	89.4～ 89.8	89.60	+0.55
軽油	86.5～ 86.9	86.70	-0.35	88.0～ 88.7	88.35	+0.60
A重油	87.5～ 87.9	87.70	+0.30	89.0～ 89.9	89.45	-0.30
LSA重油	88.0～ 88.4	88.20	+0.30	89.5～ 90.4	89.95	-0.30

※ガソリン#は揮発油税込み価格、ガソリンは揮発油税抜き価格

◎SS向けスポット卸市況（円/リットル、ローリー届け、1.5～2円運賃圏）

油種	京浜	前日比	中京	前日比	阪神	前日比
ガソリン	140.5～141.5	0.0	140.0～141.0	0.0	141.0～142.0	+2.0
灯油	87.5～ 88.5	0.0	88.0～ 89.0	0.0	88.0～ 89.0	0.0
軽油	119.5～120.5	0.0	120.0～121.0	0.0	120.0～121.0	0.0

◎ユーザー向け産業燃料油市況（円/リットル、ローリー届け、1.5～2円以下運賃圏、大口向け，週決め）

油種	京浜	前日比	中京	前日比	阪神	前日比
灯油	87.0～ 88.0	0.0	87.5～ 88.5	0.0	88.0～ 89.0	0.0
軽油	118.5～119.5	0.0	119.5～120.5	0.0	119.5～120.5	0.0
A重油	88.0～ 88.5	0.0	87.5～ 88.5	0.0	88.0～ 89.0	-0.5
LSA重油	88.5～ 89.0	0.0	88.0～ 89.0	0.0	88.5～ 89.5	-0.5

※前日比は中値ベース
※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の京浜地区は製油所の京浜中値と油槽所の京浜中値の単純平均値
※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の中京地区は製油所の中京中値と油槽所の中京中値の単純平均値
※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の阪神地区は製油所の阪神中値と油槽所の阪神中値の単純平均値
※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の軽油は製油所の課税、未課税、油槽所の単純平均値
※SS向けスポット卸市況およびユーザー向け産業燃料油市況は揮発油税・軽油引取り税を含む
※中値は小数点第3位を四捨五入

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎輸入採算価格（SR船型、韓国出し、関税・石油石炭税込、円/kl）

	北海道	前日比	京浜	前日比	中京	前日比	関門	前日比
ガソリン	88,981	+1,094	88,318	+1,092	88,033	+1,091	87,654	+1,090
灯油	93,842	+1,109	93,179	+1,108	92,895	+1,107	92,515	+1,105
軽油	93,299	+1,107	92,635	+1,105	92,351	+1,104	91,972	+1,103
LSA重油	85,958	+1,096	85,294	+1,094	85,010	+1,093	84,631	+1,092

※SR船型による輸入、LSA重油は免税ベース、軽油は硫黄分10ppm
※輸入採算価格はリムアジア製品レポート掲載のシンガポール市況（ペーパー）の3月限をベース

◎海陸市況格差（陸上4製油所平均-海上バージ市況）

ガソリン	-2.01	灯油	-2.05	未課税軽油	-2.74
A重油	-1.32	LSA重油	-1.32		

※4製油所平均＝千葉、川崎、中京、阪神

◎指標原油

WTI（NYMEX	4月限,	$/bbl,	2/27	close)	70.35	+1.73
WTI（NYMEX ACCESS	4月限,	$/bbl,	2/28	5:00pm 東京時間)	69.67	-0.68
ドバイ（ペーパースワップ,		$/bbl,	2/28	東京夕刻)	76.32～76.36	+0.77
ドバイ（ペーパースワップ,		円/kl,	2/28	東京夕刻)	72,349	+935
ドバイ（ペーパースワップ,		円/kl,	2/24～2/28平均)		72,267	-684
ドバイ（ペーパースワップ,		円/kl,	2/14～2/20平均)		75,113	-8
東商取ドバイ原油当限		(円/kl,	2/28	引け)	74,450	+50

◎原油輸入平均CIF価格（JCC、円/kl、財務省）

24/12/01-31 73,361r	25/01/01-31 75,728r	25/02/01-28 3月19日発表予定
24/12/01-10 74,818	25/01/01-10 75,369	25/02/01-10 78,621
24/12/11-20 72,559	25/01/11-20 75,716	25/02/11-20 3月7日発表予定
24/12/21-31 72,978	25/01/21-31 75,987	25/02/21-28 3月19日発表予定

◎Rim JCC予想値（円/kl）

25/2月	77,690	±0	25/3月	74,780	+340	25/4月	75,670	+620

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎東商取バージ先物・日中取引(東京湾岸製油所・油槽所出しバージ取り、円/リットル)

ガソリン		始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
	4月限	-	-	-	86.00	-	-
	5月限	-	-	-	86.00	-	-
	6月限	-	-	-	86.00	-	-
	7月限	-	-	-	86.00	-	-
	8月限	-	-	-	86.00	-	-
	9月限	-	-	-	86.00	-	-
	合計						-
灯油							
	4月限	-	-	-	88.00	-	-
	5月限	-	-	-	88.00	-	-
	6月限	-	-	-	88.00	-	-
	7月限	-	-	-	88.00	-	-
	8月限	-	-	-	88.00	-	-
	9月限	-	-	-	88.00	-	-
	合計						-
軽油							
	4月限	-	-	-	90.30	+0.30	-
	5月限	-	-	-	89.90	+0.30	-
	6月限	-	-	-	89.50	+0.30	-
	7月限	-	-	-	89.10	+0.30	-
	8月限	-	-	-	88.70	+0.30	-
	9月限	-	-	-	88.20	+0.30	-
	合計						-
原油							
	2月限	75.04	75.04	74.45	74.45	+0.05	19
	3月限	69.76	69.85	69.70	69.83	+1.05	88
	4月限	68.84	68.84	68.73	68.73	+0.79	4
	5月限	67.74	67.97	67.74	67.97	+0.96	31
	6月限	67.27	67.35	66.69	67.08	+0.95	354
	7月限	66.39	66.48	65.85	66.20	+0.92	1,247
	合計						1,743

取組高 (2/27)

ガソリン	売	0	買	0
灯油	売	0	買	0
軽油	売	0	買	0
原油	売	28,602	買	28,602

1枚=50kl

◎東商取中京ローリー先物・日中取引(潮見油槽所出しローリー取り、円/リットル)

ガソリン		始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
	4月限	-	-	-	88.00	-	-
	5月限	-	-	-	88.00	-	-
	6月限	-	-	-	88.00	-	-
	7月限	-	-	-	88.00	-	-
	8月限	-	-	-	88.00	-	-
	9月限	-	-	-	88.00	-	-
	合計						-
灯油							
	4月限	-	-	-	89.00	-	-
	5月限	-	-	-	89.00	-	-
	6月限	-	-	-	89.00	-	-
	7月限	-	-	-	89.00	-	-
	8月限	-	-	-	89.00	-	-
	9月限	-	-	-	89.00	-	-
	合計						-

取組高 (2/27)

ガソリン	売	0	買	0
灯油	売	0	買	0

1枚=10kl

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎概況・トッパー停止状況=トッパー停止数・6基　停止率17.2%

○陸上ローリー市況

3月商談入りの28日の東名阪4リム製油所出しはまちまち。京浜ではガソリン、灯油、身が勢軽油で強含んだものの、課税軽油、重油は2月商談の水準にとどまった。中京でも同様に課税軽油が停滞、阪神では弱含んだ。燃料油補助金の大幅減額予想を受け、同補助金の増減に敏感なディーラーが売り攻勢を強めた。

地方出荷地では、北海道でガソリンが前日並み、仙台では小幅安となった。四国では灯油、軽油が弱含み、九州では重油が冴えない。期末を控え、月初から手持ち玉の消化に舵を切る売り手が散見された。

○ドバイ原油市況

28 日の価格動向		
ドバイ価格(東京午後 5 時時点)	76.32～76.36 ドル	前日比+0.77 ドル
円建てドバイ価格	76.4 円	前日比+1.0 円
4 月の国内製品コスト推定値 (2/26～3/25)	76.3 円	3 月平均比-4.3 円
平均推定値　火-月(2/25～3/3)	76.3 円	前週比-3.0 円
平均推定値　水-火(2/26～3/4)	76.0 円	前週比-3.0 円
2 月の調整金(アラブ・ライト)	前月比+0.60 ドル	前月比+0.6 円程度
3 月の調整金(アラブ・ライト)	前月比+2.40 ドル	前月比+2.3 円程度

※ドバイ原油:リム情報開発「原油・コンデンセート」レポート掲載のペーパースワップ価格を参照

※国内製品コスト推定値　為替：三菱 UFJ 銀行 TTS、石油石炭税込み

※平均推定値:国内の土日祝日は対象から除外

○元売り市中買い

民族系大手元売りはこの日、京浜と阪神でガソリンに買い気を示すも、売り手は不在であった。民族系最大手、民族系、中堅元売りは、静観を貫いている。

○2～3月のアセスメント評価対象について

① 2月最終発刊日の28日は金曜日となるため、アセスメントは3月3日月曜日の受渡物を評価対象とし、2～7日先までの受渡物が参考となります。

② 3月最終発刊日の31日は月曜日となるため、アセスメントは通常どおり翌日の受渡物を評価対象とし、2～7日先までの受渡物が参考となります。

◎北海道(苫小牧・石狩)

○概況

スポット流通玉市況の3月商談は中間三品が底上げでスタート。28日期限での安値圏の消化売りの後退を映した。一方、ガソリンは買い気の弱さが解消されず、需要の系列回帰も強いため、上値の重さが残った。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

○ガソリン

【苫小牧】87.2～88.2円（揮発油税込141.0～142.0円）と前日から横ばい。

3月商談からの相場に変化はなかった。需要の系列回帰が依然として強いことや、ディーラーによっては3月の販売枠が確定していないなど、積極的に受注を取り込む動きはなかった。多くの卸業者が手持ちとコストを勘案した唱えで様子見している。

足元は輸入玉をベースとした埠頭出荷玉を扱う卸業者が相場をリード。141～141.5円まで。埠頭出荷の元売り玉、民族系製油所出荷玉を扱う卸業者の唱えは141.8～142円以上となっている。

もっとも、購買力のある量販店向けでは141円割れで取引を進める動きも見え隠れしたが、ガソリン自体の業者間の売買は閑散としており、この価格帯の取引が表立って進められている様子はなかった。

○灯油

【苫小牧】86.8～87.8円と前日比1.0円高。

3月商談へ移行し、卸業者の多くが上値を試す動きを取っていたが、時間の経過とともに下値を探る動きも台頭しており、販売姿勢の濃淡が顕著な様相を呈した。

苫小牧出しでは埠頭の在庫玉、製油所出荷玉をベースとした唱えは87.8～88円以上だったが、午後になると86.8～87円など1円以上安値で買い気を探る動きも台頭。さらに販路が限られたものの、受け渡し数量次第では86円以下で買い気を動きも点在していた。

石狩出荷では88円台後半以上の唱えが主流ながらも、一部で87.5円前後など、苫小牧出しの安値圏の売りに対抗した売りも散見された。

もっとも、足元の日中の気温が10度と超えて例年になく暖かいことや、2月商談は需要の系列回帰や配送難を背景に業者間のEXパイプの取引が活発に進まない部分があったため、一部ながらもこうしたレンジ外の唱えで買い気を喚起する動きもあったようだ。

道央圏の届け取引では、90円以上での受注できるかを試す市場関係者が多かった。ただ、一部ながらも89円前後で売りこむディーラーの存在もあり、これが濃淡の目立つ販売姿勢になった可能性を指摘する市場関係者が複数いた。

28日の札幌の積雪は0センチ。最高気温は10.9度。4月並みの暖かさとなっている。

○軽油

【苫小牧】86.2～87.2円と前日比0.2円高。

3月商談へ移行しても動意薄の商況が続いている。取引自体が停滞しており、気配値が先行している。

民族系元売り玉の課税玉を扱う広域、地場ディーラーの唱えは1日渡しから課税で86.2～86.5円以上。商社系、広域ディーラーの未課税玉の唱えは87.2～87.5円以上。

一部、課税で86円以下、未課税で87円以下の買い気を喚起する動きもあったが、これらの売り込みが幅広く流通している形跡はなかった。

○重油

【苫小牧】A重油は86.5～87.0円と前日比0.65円高。

主要出し元玉、および在庫玉を扱う卸業者が相場を形成。苫小牧出しでは、商社系、広

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

域、地場ディーラーの唱えは1日渡しから86.5～87円、87.5円以上と総じて上振れこのうち、旧米メジャー系元売り玉の広域ディーラーの唱えは3日期限で86.5円ながら、すべてにバイヤーが入手可能でないながらも、他社で同水準の出物は入手可能と口を揃えた。

◎東北(仙台)

○概況

スポット流通玉市況は中間三品が上昇した一方、ガソリンは小安く上値の重さが目立った。月変わりで多くの卸業者が上値を試す動きを取ったが、ガソリンは3月商談に移行しても販売は活気づく見通しが乏しいことや、灯油はシーズンオフを意識した先行売りも出るなどしていた。

○ガソリン

【仙台】86.7～87.2円（揮発油税込み140.5～141.0円）と前日比0.05円安。

製油所出荷玉を扱う商社系、広域ディーラーの3日期限の唱えは140.5～141円以上と、中間三品と対照的に上値の重さが目立った。3月商談に移行直後は需要の系列回帰が強いことや、タンクローリーの配送も依然として灯油中心とあって、ノンブランドガソリンに食指を動かす買い手が少ないことが背景にある。

また、3月商談へ移行しても、近隣の油槽所出荷玉では140円割れと製油所対比で相対的に安価な出物が流通しており、購買力のあるバイヤーは製油所出荷玉に関心を寄せていないことも上値を重くしているようだ。

【青森・八戸】足元では中堅元売り玉、旧外資系元売り玉をベースに141.5～142円以上。主要出し元玉をベースに143円以上と各社が上値を探る動きを取っていた。新規動意は閑散としており、足元は気配値が先行していた。一部、民族系元売り玉とみられる141.5円割れの売りも見え隠れしたが、これが表立っている様子はなかった。

○灯油

【仙台】86.5～87.2と前日比0.3円高。

製油所出荷玉を扱う商社系、広域ディーラーの3日期限の唱えは86.5～87.2円、87.5円以上と上振れ。月変わり直後とあって、28日期限で一定の売り気を示していたディーラーは87.5～89円を唱えて様子見に後退していたが、3月商談の前半からオーダーを取り込むことを優先しているディーラーは87.2円以下で実際の引き合いでは、受け渡し数量に応じてディスカウント対応も進めている様子もあった。

【青森・八戸】主要出し元玉、民族系元売り玉、中堅元売り玉のディーラーの唱えは88.5円前後～89円台前半。仙台同様に先行してオーダーを喚起するディーラーは88円前後まで踏み込んでいる様子があった。

○軽油

【仙台】86.0～86.5円と前日比0.1円高。

製油所出荷ルートの商社系、広域ディーラーの3日期限の唱えは課税が86～86.5円、87円以上。未課税玉を扱うディーラーの唱えは87円台前半～88円前後。相対的に課税で値ごろ感のある玉が多く、レンジ内で複数が売買を進めていた。このうち、86円台前半の玉は民族系元売り玉をベースとしているケースが多かった。

【青森・八戸】主要出し元玉、中堅元売り玉

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

の課税を扱うディーラーの唱えは88円台前半～89円以上。未課税のディーラーの唱えは88円台半ば～89円前後。

○重油

【仙台】A重油は86.5～86.8円、LSA重油は87.0～87.3円といずれも前日比0.5円高。

製油所出荷ルートの商社系、広域ディーラーの3日期限の唱えは86.5～86.8円以上と上振れした。

ただ、月変わり直後、広域大手ディーラーの一角が広く86.5円を唱えたため、転売を含めて87円前後で唱えるディーラーも出現。87円前後の唱えでは取引は進展難と見る向きも多かった。LSA重油はA重油対比で0.5円高。

【青森・八戸】主要出し元玉をベースとした各社の唱えは88.5円前後～89円以上。仙台とは対照的に3月商談に入っても底上げの動きはなかった。

◎京浜

○概況

3月渡し商談が始まったスポット市況はガソリン、灯油、未課税軽油が強含み。2月渡し商談の終盤戦で生じていた手持ち玉の消化売りが月変わりを機に鳴りを潜めた影響だ。ただ、ガソリンについては月初めから販売を飛ばし気味のディーラーもちらほら。月変わりの相場上昇ペースには不完全燃焼感を覚える卸業者が多かった。軽油も月変わり早々の売り込みが表面化。3月渡し分の価格は、2月渡し商談の終盤戦並みの水準にとどまっている。

○ガソリン

【千葉製油所】前日から0.55円高の84.7～85.7円(揮発油税込み138.5～139.5円)。

強含み。3月渡し商談の取引初日とあり、いったん上値を試すディーラーが増えた。もっとも目先の売り方には卸業者ごとの温度差も見え隠れ。月初早々に販売の鼻息が荒いディーラーもおり、安値圏では「2月渡し分と遜色ないような売り込みがある」(卸業者)。市中では次週の燃料油補助金を巡る減額観測が台頭。仕切り価格月間平均値に連動する玉を扱う卸業者らの間では、減額前に月次枠を売り抜ける意向が強まっているためだ。

3月1～3日出荷分は民族系元売り玉、中堅元売り玉を扱うディーラーが138.5～139.5円で打ち出している。当初は139円以上の商談入りを志向する卸業者が多く、実際のところ卸業者間の見積もりベースでは139～139.5円といった価格提示も広く伝わる。このなか大口バイヤーなど向けでは139円割れの売りも点在。この日は複数の市場関係者が商談水準の下値を138.5円と指摘している。局地的には138.5円を下回る取引があったとの見立てもあるが、詳細は判然としない。138円台の取引については「月初から突っ込み過ぎ」(卸業者)と驚く声が少なくない。139.5円超えの売り物は相対的に競争力を欠く。

元売りの市中調達関連では、民族系大手元売りが千葉製油所玉を139円台半ばで買い唱えた。最終的に売り手は現れず、成約した様子はない。

【八潮】前日から0.6円高の87.1～87.4円(揮発油税込み140.9～141.2円)。

上昇。月変わりで地合いが堅い。1～3日出荷分ではおおよそ141円前後の売唱えが広がった。複数のディーラーが140.9～141円、ないしは他社玉の転売ベースの141.2円といった売唱えを提示しており、全体的に141.2円が相場の上値を形成している。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

【川崎製油所】前日から0.75円高の85.7～86.2円(揮発油税込み139.5～140.0円)。

上昇。千葉製油所出し合わせて上値が軽い。1～3日出荷分では民族系元売り玉や旧外資系元売り玉を扱うディーラーが139.5～140円で打ち出している。見積もり上は140円超えで売り出す卸業者も多いが、市場関係者の関心はいまひとつ。相場が上向いたとはいえ、騰勢には肩透かし感を覚えるとの意見が大勢。この日140円超えの販売を目指したディーラーの一角は「思いのほか相場が上がらずがっかり」と伝えている。

【横浜】前日から横ばいの86.2～87.2円(揮発油税込み140.0～141.0円)。

もち合った。横浜ターミナル周辺は様子見が継続。取引に積極的なプレーヤーが見当たらず、目先は前日と同じく140～141円の売買アイデアが点在している。

【川崎横浜平均】前日比0.38円高の140.13円。

【東商取】バージ4月限は86円で日中取引を終えた。出来高はゼロ。

○灯油

【千葉・川崎製油所】前日比1.05円高の86.0～87.0円

上昇。3月渡し商談のスタート初日とあり、いったん値上げするディーラーが大勢だ。全体的には早めの月次枠消化を意識する卸業者も多い。4月が近づけば実需が鈍化する懸念があり、灯油は「月前半が勝負だ」(地場ディーラー)。気象庁の1カ月予報によると、東日本の気温は3月にかけて平年並み、もしくは平年を上回る可能性が8割。とくに期初の気温が温暖に推移する見通しだ。

千葉、川崎出しの3月1～3日出荷分では民族系最大手元売り、旧外資系元売り、民族系元売りルートで86.5～87円で打ち出すディーラーが増えた。早い時間帯であれば86円台後半～87円で取引が成立している。その後、午後になると同業他社の下値を潜った売りが表面化。騰勢が息切れし、時間の経過とともに相場がだれたと複数の卸業者が指摘している。最終的には民族系元売りルートなどで86～86円台前半まで売り込まれた形跡がある。87円超えの玉は高値と映りやすかった。

市場関係者によると、民族系大手元売りの千葉製油所では3～5日にかけて灯油、3号軽油の出荷規制が入っているが、足元は月変わり直後で周辺出荷地の売り込みが潤沢。市況への影響は限定的となっている。

【八潮・横浜】前日から1.3円高の88.5～89.0円、横浜は前日から1.05円高の86.6～87.0円。

八潮、横浜ともに上昇。製油所出しにつれて上がった。1～3日出荷分では八潮出しで88.5～89円の売唱えが広がった。全体的に89円以下の出物が多い。

横浜出しは86.6～87円の売唱えが広く浸透。近隣の川崎製油所出しで87円以下の売り物が広く手当て可能となっており、横浜も87円超えは競争力を欠きそうだ。

【東商取】4月限は88円で日中取引を終えた。

○軽油

【千葉・川崎製油所】課税玉は前日から横ばいの85.0～86.0円。未課税玉は千葉が前日から1.05円高の86.8～87.5円、川崎が前日比0.65円高の86.8～87.5円

課税玉は横ばい。月変わりに伴う値上げの機運も生じているが、ふたを開ければ月次枠消化を急ぐディーラーによる販売攻勢が散見。値上げは総じて「不発に終わった」(卸

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

業者)。

3月1～3日出荷分を対象とする課税玉では、千葉、川崎出しともに前日同様85～86円で推移している。民族系元売り玉、旧外資系元売りルートでは85.5～86円の売唱えが点在。このうち燃料油補助金の改定前の手持ち玉消化を急ぐディーラーの間では、85.5円を割り込み、85円まで売り込む動きも垣間見えた。横浜油槽所出しの課税軽油価格の意識した売りもあるようだ。85.5円割れは3月渡し商談の序盤から「価格を叩き過ぎ」(地場ディーラー)と苦慮する声もある。

ただ、次週の補助金改定をひとつのタイムリミットとし売り込むディーラーの間では、悠長に構えている余裕はないとの声も漏れ伝わった。2月渡し商談終盤で玉を持て余した卸業者の間では、3月はこの二の舞を避けたいとの考えもある。このなか86円超えの玉に対する買い手の関心はいまひとつ。また千葉サイドの中堅元売りルートでは85.5円の売唱えも聞かれた。

未課税玉は上昇。月変わりでいったん様子見姿勢のディーラーが多い。1～3日渡し分は千葉、川崎ともに2月渡し商談で生じた出荷地間の値差が解消。目先の商談水準は86.8～87.5円で揃った。民族系最大手元売り玉、民族系元売り玉を扱う卸業者らがこの水準で打ち出している。全体的に87.5円以下の売り物が多そうだ。

【八潮・横浜】八潮が前日から0.35円高の87.7～88.0円、横浜が前日から0.25円高の85.2～85.8円。

八潮、横浜ともに上昇。1～3日出荷分では八潮出しで87.7～88円の売唱えが伝わる。月始めは手堅い価格での商談入りが増えている。全体的に88円以下の玉が広く調達可能という。

横浜出しの1～3日出荷分は85.2～85.8円の売唱えが聞かれた。85.5円前後で玉を手当て可能との意見も根強い。

○重油

【千葉・川崎製油所】LSA重油は前日から横ばいの86.3～87.0円。A重油はLSA重油レス0.5円。

変わらず。前日並みの価格提示を引き継ぐディーラーが多い。重油は売り先が紐づいた定例の取引に終始する卸業者が多く、全体的な値動きの抑制につながっている。

LSA重油の3月1日渡し分では、民族系最大手元売り、旧外資系元売り、民族系元売りルートで86.3～87円の売唱えが広がっている。全体的に86.5～87円の見積もり提示に厚みがあり、87円超えは買い手の関心が薄れやすい。また月次枠消化を急ぎ気味のディーラーの間では86.5円割れの売り込みも点在。民族系元売りルートでは86.3円を割り、86円に迫る勢いの売り込みも見え隠れした。ただ、販路はやや絞られていた節がある。

【八潮・横浜】八潮は前日から0.25円高の87.3～87.8円、横浜は前日と同じ87.0～87.5円。

八潮出しが上昇。2月渡し分の売り込みが鳴りを潜めた。1～3日出荷分は87.3～87.8円の売り唱えが広く伝わり、目先は87.8円が相場の上値を形成している。

横浜出しは横ばい。市場参加者が限られ、取引の流動性が低下している。1～3日渡し分では引き続き87～87.5円の売買アイデアが点在している。

【官公需】海上の入札案件では、海技教育機構が東京港に停泊する練習船用3月納めLSA重油の競争入札を28日開札で実施。「海王丸」向け180klが届け89.3円、「青雲丸」向け320klが同88.6円でそれぞれ落札されている。また東京海洋大学が同日開札した練習船「海鷹丸」、「神鷹丸」、「汐路丸」向け3月納めLSA重油294klの競争入札は同91.6円で落札

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

された。

◎中京

○概況

製油所出しでは、課税軽油を除き上伸。月替わりを機に、販価を切り上げるディーラーが目立った。一方、課税軽油では燃料油補助金の増減に敏感な売り手による攻勢が観測されている。12日まで同補助金は大幅に減額するとの予想も浸透しており、商機を5日までと見る売り手が多いようだ。足元では課税軽油での訴求が目立つものの、週明けは他油種へ攻勢が派生する可能性も言及された。

油槽所出しは全面高。月替わりにより、販価を切り上げ他社の様子を窺う卸業者が多かった。

○ガソリン

【製油所】前日から0.2円高の84.7～85.7円(揮発油税込み138.5～139.5円)。

小幅上伸。販価を切り上げるディーラーも多いものの、上げ幅はいまひとつ。2月の販売不振やローリーネックを受け、蔵取り取引での売り攻勢が強まっているとの指摘もある。

1～3日渡し分では、商社系ルートから138.5からの打ち出しが見られた。139.2円からは民族系元売り玉での取引が進んだ。139.5円では民族系元売り玉を扱う卸各社が売り唱えており、上値を形成した。

愛知出しでは、142.5円の提示が見られるものの、調達の手が伸びた気配はなかった。

【9号地】前日から0.6円高の84.3～85.2円(揮発油税込み138.1～139.0円)。

9号地の水準も強含み。前日の販価を据え置く売り手も見られるものの、大勢は切り上げへと舵を切っている。

1～3日渡しの取引では、丸中ターミナル出しで138.1円から商談がスタートしている。CTT出荷では139円からの打ち出しが広く見られ、上値として意識された。139円を上回る提示も多く見られるものの、相対的に割高に感じる買い手が多かったようだ。

小売量販店向けの水準では、139円台が主流。一部138円台での提示も見られるものの、広がりはないようだった。

【先物市況】東商取中京ローリー4月限の帳入値は前日比横ばいの141.8円。出来高はゼロ。

○灯油

【製油所】前日から0.2円高の85.7～86.7円。

小幅上げ。販価を切り上げるディーラーも多いものの、シーズンの終わりを意識し消化を焦る売り手も多い。上げは小幅に留まった。

四日市では、商社系ルートでの提示が、85.7円から広がった。民族系元売り玉を扱う卸各社は86.4円から打ち出している。86.7円では、旧外資系元売り玉での売唱えも聞かれた。

愛知出荷では、86.7円の取引もあるようだ。いずれの出荷地でも、86.8円からの売唱えへの関心は限定的だった。

【9号地】前日から0.95円高の86.9～87.1円。

9号地は上伸。販価を切り上げ、様子見に徹する売り手も多かった。

CTT出しでは、86.9円からの売り物が並んだ。丸中ターミナル出しでは、87.1円の提示があるようだ。総じて製油所出しに比べ割高な水準のため、調達レンジは狭いようだった。

商社系ターミナル出荷の売値は88.6円か

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

ら展開した。調達の手は伸びにくいようだった。

【先物市況】東商取中京ローリー4月限の帳入値は前日比横ばいの89円。出来高はゼロ。

○軽油

【製油所(課税)】前日比横ばいの85.4～86.0円。

もち合った。3月渡しに切り替わったものの、軽油の商談水準は上がらず。次週燃料油補助金の減額観測があるため、燃料油補助金額が仕入れに影響する業者が売り意欲を強めていた。「3月渡しにもかかわらず、2月渡しが続いているような感覚だ」(広域系)との声も上がっている。

四日市の民族系元売り玉を扱う業者は、3日渡しまでを対象に85.4～85.5円を打ち出し、販売枠の消化を図っていた。向け先によっては85円までの対応を検討するディーラーもいたもよう。旧外資系元売りルートでは86円の売唱えが示されていた。

愛知出荷では旧外資系元売り玉を扱う業者などが、86円で販売を継続。四日市、愛知ともに86円が商談水準のひとつの上値を形成していた。

【製油所(未課税)】前日比0.85円高の87.0～87.5円。

未課税玉は切り上がった。3月渡しに移行したことで、売値を見直す動きが強かった。ただ、課税玉の市況が低迷しているため、「週明けには86円台まで下落してくるのではないか」との見方を示す業者もいる。

大手商社玉を扱う業者は87円を打ち出し、買い気を探っている。最大手元売り玉や旧外資系元売り玉を扱う業者は87.4～87.5円に売値を集めていた。民族系元売り玉を扱う業者は87.5円を上回る唱えを示すものの、相対的に割高感があった。

一方、手当て可能な業者は限られていたが、向け先によっては86円台後半の出物も出始めている様子があった。

【9号地】前日比0.8円高の85.8～86.7円。

9号地も月替わりと共に、販価を見直す動きが強かった。ただ、2月渡しからほとんど売値を変えていないケースもあり、売り込みも見え隠れしている。

丸中ターミナル出荷では、85.8円の唱えが継続した。最大手元売り玉や他社玉をベースに販価を組み立てたディーラーは、86.4～86.7円で買い気を探っている。この他、最大手元売りルートでは87円台、商社系ターミナル出荷では88円台の唱えも点在したが、いずれも高値圏に位置していた。

○重油

【製油所(LSA重油)】前日から0.6円高の86.4～87.0円。

上伸。月替わりを背景に、自社提示に上方修正を加える売り手が多かった。

四日市出しでは、民族系元売り玉を扱う卸各社が86.4～87円のレンジで取引を展開した。86.7円からは旧外資系元売り玉、86.9円からは民族系最大手元売り玉も手当てできるようだ。87円では東名阪に渡り複数の広域系も打ち出しており、上値として意識されやすかった。

また愛知出しでは、86.5円からの売り物がこの日も残る。

【製油所(A重油)】前日から0.6円高の85.9～86.5円。

【9号地】前日から0.05円高の87.0～87.6円。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

9号地はわずかに上伸。販価を据え置いた売り手も多かったようだ。

1～3日渡しを対象に、民族系最大手元売り玉を扱う卸各社が87円から売り物を並べた。他社玉の転売で販価を仕上げたディーラーは87.2円で広く売唱えている。商社系ルートでは87.6円の売り物が見られる。これを上回る提示への関心は冴えなかった。

【官公需】28日開札の愛知水と緑の公社向け4～9月分のLSA重油1,045klは、前期比12.9円高の届け91.8円で落札された。落札者は中川物産だった。

◎阪神

○概況

製油所出しは、ガソリンが大幅上げ。月替わりを機に販価を切り上げる動きが見られ、灯油、未課税軽油でも底上げされた。一方、課税軽油は弱含み。燃料油補助金の減額予想を受け、同補助金に連動する仕入れを有する売り手が攻勢を強めている。また軽油出荷規制が続いているENEOS堺出しでも、規制の緩和があるようだと複数の市場関係者が寄せた。もっとも4日からの規制解除の連絡はなく、同解除に懐疑的な声もちらほら。

また、コスモ堺製油所でもトラブルがあるようだとの声がある。西日本では製油所トラブルが複数内包しており、引き続き玉繰りの急なタイト化を警戒する声も複数寄せられている。

○ガソリン

【堺製油所】前日から1.65円高の85.2～86.0円(揮発油税込み139.0～139.8円)。

大幅に切り上げ。月替わりを機に、販価を上方修正するディーラーが多かった。月初のため、買い気もあるとの声も寄せられる。一方で、水面下では138円台での商談が進んだ気配も見え隠れ。2月の販売不振を受け、早くも売り攻勢を強めるディーラーもいるようだ。

1～3日渡し分では、民族系元売り玉で139円からの提示が見られる。四国の中堅元売り玉では、139.5円から取引が展開した。139.8円までのレンジで調達を済ませた買い手が多く、これを上回る提示への関心は冴えなかった。

【油槽所】前日から1.6円高の85.2～85.9円(揮発油税込み139.0～139.7円)。

油槽所出しも大幅上伸。月替わりにより、販価を切り上げた売り手が多かった。

輸入玉をベースとした取引は、139円から展開した。四国の中堅元売り玉では、139.5円からの水準で商談が進んでいる。139.7円までのレンジに売り物の層が厚く、これを上回る提示への関心は冴えなかった。

【届け市況】EXベースでのボリュームゾーンは139～139.5円程度と上伸。最安値は138円台半ばほどとの声があるが、広がりは限定的だった。

【東商取】東商取3月限の帳入値はバージが前日並みの86円(揮発油税込み139.8円)、中京ローリーは前日並みの88円(同141.8円)だった。

【海上市況】西日本は28日現在、87円台半ばで推移している。

○灯油

【堺製油所】製油所出しが前日比0.7円高の86.3～86.9円。

上昇。3月商談スタートとともに前日まで見られた安値圏の売り物が姿を消し、商談水準を押し上げた。いったん販価を切り上げ様子見の業者も多いようだ。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

3日渡し分までは、四国の中堅元売り玉を扱う業者や民族系元売り玉を扱う業者などが86.3～86.9円の売唱え。旧外資系元売り玉を扱う業者からは86.4～86.9円の玉が打ち出されている。86.9円を超える玉も出ているが、興味を示す業者は少ないようだ。

【油槽所】前日比0.4円高の85.9～86.8円。

油槽所出しも切り上がった。製油所出し同様、月が替わり販価を上方修正した業者が散見された。

輸入玉、在庫玉、四国の中堅元売り玉をベースとする取引は85.9～86.8円。86.8円までは複数の業者の提示があるため、86.8円を超える玉に買い手の関心は集まりにくいという。

【東商取】バージ4月限は前日と同じ88円、中京ローリー4月限は前日から横ばいの89円。

【海上市況】西日本は28日時点で、88円台半ばで推移している。

○軽油

【堺製油所】課税玉が前日から0.75円安の85.5～86.0円、未課税玉が同0.5円高の87.4～87.6円。

課税玉は下振れ。燃料油補助金の大幅減額予想を背景に、同補助金が連動する玉を扱う卸各社が売り攻勢を強めている。5日までは同様の攻勢が強まると見る市場関係者も多かった。

未課税玉は上振れ。月替わりを機に販価を切り上げるディーラーが多いものの、課税玉の攻勢を鑑み、下げ圧力があるとこぼす声もちらほら。

ENEOS堺出しでの出荷規制は続いている。この日も、週明け4日からの規制解除には言及されず、やきもきした様子の卸業者が多かった。

また一部ではコスモ堺製油所での不調を伝える声もあり、週明けからの急なタイト化へ警戒感を示す売り手も点在した。

課税玉の1～3日出荷分では、民族系元売り玉を扱う卸各社が85.5円から商談を展開した。86円までのレンジには同玉での売唱えのみだったが、これを上回る売り物へ、積極的な動意を示す声は聞かれなかった。

未課税玉は87.4～87.6円のレンジで売り唱えられた。

【油槽所】前日から0.4円高の86.6～87.6円。

小幅上伸。3月商談に向け販価を切り上げる売り手も多いものの、製油所出しの水準につられ上げ幅を抑える売り手もちらほら。

課税玉は86.6円から商談が主流だった。未課税玉の販価は87円台後半から展開した。また水面下では、86.6円を割り込む交渉が進んだ形跡も見られる。

【海上市況】西日本は28日時点で、90円程度で推移している。

○重油

【堺製油所】A重油は85.9～86.5円、LSA重油は86.4～87.0円といずれも前日から変わらず。

横ばい。2月商談の最終日では販売枠の消化を終え、見積もりを高く設定していた民族系元売りルートの業者が、3日渡しでは販売枠が復活し、売り攻勢を強めた。一方で、ほかのルートからは前日の消化売りが止み、販価を切り上げる業者も見られ、差し引き、商談水準は変わらなかった。

3日渡しまでのLSA重油では、民族系元売り玉を扱う業者が86.4円に販価を切り下げ、売り込みを図った。旧外資系元売り玉を扱う業者は86.9円で追随。また、民族系最大手元売

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

り玉を扱う業者複数の業者は87円を売り唱えた。複数の業者から87円までの玉を手当て可能なため、87円を超えると動意が鈍いもよう。

【海上市況】西日本では27日時点で、A重油が87円台半ば、LSA重油が88円程度で推移している。

◎四国

○概況

ガソリンと重油が強含み。2月最終日に手持ち玉消化のためマージンを圧縮して売り込みを続けていた業者が、月が替わり販価を上方修正した。このため、商談水準は切り上がった。

一方で、灯油と軽油は下落。次週の燃料油補助金の減額を織り込み、燃料油補助金絡みの月間玉の売り込みが始まった。また、2月末は月内の出荷停止を伝えていた卸業者が販売枠の復活で、販価を切り下げ、買い気を探った。

市場関係者によると、ENEOS水島製油所B工場の3号軽油が28日から出荷停止。「再開時期は不明だが、3か月ほどかかるかも知れない」(市場関係者)との声が寄せられた。

○ガソリン

前日比0.35円高の86.7～87.0円(揮発油税込み140.5～140.8円)。

上昇。月が始まったばかりで販価を高く切り上げ、様子見の姿勢を取る業者が大勢だった。このため、スポット市況は押し上げられた。

【坂出】3日渡し分までを対象に、民族系元売り玉を扱う業者や他社玉を担いだ業者などは140.5～140.8円に販価を上方修正した。ほかに140.8円を超える玉も出ているが、買い手が興味を示すのは140.8円までのようだ。

【菊間】四国の中堅元売り玉を扱う業者や他社玉をベースに組み立てた業者などは139円を提示したが、こちらの玉は向け先が絞られるようだ。

【水島】民族系元売り玉を扱う複数の業者は138.8～139.5円を提示した。「139円割れの価格では多少オーダーが取れたが、139円を超える玉に興味を示す業者はほとんどいない」(商社系)との声が寄せられた。

一方で、小売業者向けはEXパイプに換算し、138円付近で売りに応じる業者がいる。「岡山オイルターミナルや坂油槽所出しでも、同水準の売り物が出回っている」(広域系)との声が寄せられた。

また、麻里布製油所出しでは139.7円の玉が流れているが、買い気は鈍いという。一方で、小売業者向けはEXパイプに換算し、138円台の売り物が商談水準との声が寄せられた。

○灯油

前日比0.7円安の87.5～88.0円。

反落。月初めから民族系元売り月間玉を扱う業者を中心に、手持ちの消化売りが出ている。このため、スポット市況は下振れした。「次週は多少寒さが戻るようだが、3月になって売れる気もしないので、早めに手持ちを捌きたい」(広域系)との声が聞かれた。

【坂出】3日渡し分までを対象に、民族系最大手元売り玉を扱う業者や民族系元売り玉を扱う業者などは87.5～88円に販価を寄せてきている。88円を超える玉も出ているが、広くやり取りされた様子は見られなかった。一部では87円台前半の玉も見え隠れしている。ただ、手当て可能な業者は少ないようだ。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

【菊間】四国の中堅元売り玉を扱う業者や他社玉を担いだ業者などは87.5円を提示し、受注喚起を図っている。

【水島】民族系元売り玉を扱う複数の業者から86.8～87.2円の売り物が流通している。これらの価格帯であれば、一定のオーダーを獲得できるもよう。また、麻里布製油所出しでは、86.9円の売り物が出回っている。

○軽油

前日比0.35円安の86.5～86.9円。

下落。月が始まったばかりで、販価を高く切り上げ様子見の姿勢を取る業者がいる一方、月初めから一定の量を捌きたい業者は販価を下方修正し、売り込みを図った。「次週は燃料油補助金が2円前後減る見込みのため、補助金絡みの玉は5日までに一定の数量を捌きたい」（地場系）との声が聞かれた。

【坂出】課税玉では3日渡し分までを対象に、民族系元売り玉を扱う業者や複数の仕入れ先を持つ業者などは86.5～86.9円を提示した。足元では86.9円までの玉に厚みがあるため、86.9円を超えると動意が鈍いもよう。一部では、86.5円を下回る玉も出ているが、手当て可能な業者はごく一部のようだ。

未課税玉では、民族系最大手元売り玉を扱う業者や旧外資系元売り玉を扱う業者などから、89～89.9円の玉が見積もりベースで出ている。

【菊間】課税玉では、四国の中堅元売り玉を扱う業者や他社玉をベースに組み立てた業者などから87円の売り物が打ち出されているが、こちらの玉は高値圏に位置しているという。

【水島】課税玉では、民族系元売り玉を扱う業者や他社玉を担いだ業者などが85.9～86.2円を提示し、買い気を探った。売れ行きは好調との声が寄せられた。このほかには86.7円の売唱え。

○重油

A重油が87.5～87.9円、LSA重油が88.0～88.4円といずれも前日比0.3円高。

続伸。業者間では3月商談の移行に伴う値上げの動きが出ており、商談水準は切り上がった。

【坂出】A重油では3日渡し分までを対象に、民族系最大手元売り玉を扱う業者や民族系元売り玉を扱う業者などが87.5～87.9円を提示した。

LSA重油は88～88.4円。A重油、LSA重油ともこれらの価格帯に該当しない提示もあったが、積極的にやり取りされた様子は窺えなかった。

【菊間】A重油では、民族系最大手元売り玉を扱う業者などが87.5円を売り唱え、受注喚起を図っている。LSA重油はA重油に比べ、0.5円高。また、LSA重油のみを扱う四国の中堅元売り玉を扱う業者はこの日も見積もりの提示を控え、様子見姿勢を続けている。

【水島】A重油は、民族系最大手元売り玉を扱う業者や他社玉をベースに組み立てた業者などが、86～86.2円、86.5～87円の販価を示した。「86円台前半であれば、買い気は十分」（広域系）との声が寄せられた。LSA重油はA重油に比べ、0.5円高で推移。

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎九州(福岡)

○概況

白油三品が上昇。月が始まったばかりで販価を高く切り上げ、様子見の姿勢を取る業者が大勢。このため、商談水準は切り上がった

一方で、重油は下落。3月商談の移行に伴い、販売枠が復活された卸業者が売れる価格水準まで販価を切り下げたため、スポット市況は押し下げられた。

市場関係者によると、東西オイルターミナル八代第一油槽所A工場のレギュラーガソリンと軽油が3月6日まで出荷停止。

○ガソリン

【福岡】前日比0.65円高の87.5～87.8円(揮発油税込み141.3～141.6円)。

上昇。3月渡しの商談に切り替わり、業者間では見積もりの上方修正が行われた。

3日渡し分までを対象に東浜や西戸崎、荒津出しでは複数の業者が141.3～141.6円を提示した。複数の業者から141.6円までの玉を手当て可能となっており、141.6円を超えると動意が鈍いもよう。一部では、140円台後半の売り物が見え隠れしているが、面での広がりは見られなかった。

【他地区】北九州では、複数の業者が142～145.5円を提示した。一方で、安値圏では139.6円で売りに応じる業者がいる。また、八代出しでは143.5～146.6円、佐世保では142.5円の提示がある。

宇部では、民族系元売り玉を扱う業者や他社玉を担いだ業者などが140～140.2円を提示し、売り込みを図った。このほかには143.1円の玉が調達可能となっている。

一方で、小売業者向けはEXパイプに換算し、138円付近であれば、多少オーダーを得ることができるとの声が寄せられた。

○灯油

【福岡】前日比0.55円高の89.4～89.8円。強含み。前日まで見られた手持ち玉の消化売りが止み、商談水準は切り上がった。

3日渡し分までを対象に、東浜や西戸崎、荒津出しでは複数の業者が89.4～89.8円を売り唱えている。89.8円を超える玉もあるが、広くやり取りされた様子は見られなかった。

【他地区】北九州では、複数の業者が89.4～90.2円を提示し、受注喚起を図っている。一部では、87円台の売り物も見え隠れしているが、こちらの玉を手当て可能な業者は限られるようだ。八代では90.8～91.6円の売唱え。佐世保では89.8円、大分では87円の玉が出回っている。

宇部では、民族系元売り玉を扱う業者や他社玉をベースに組み立てた業者などが86.8～87円を提示し、売り込みを図っている。このほかには88.1円の見積もりが出ている。「商談水準は87円付近まで」(商社系)との声が寄せられた。

○軽油

【福岡】前日比0.6円高の88.0～88.7円。

上伸。前日まで手持ち玉消化のためマージンを圧縮して売り込みを続けていた業者が、月替わりに販価を切り上げた。

3日渡し分までを対象とした課税玉では、荒津や西戸崎を中心に複数の業者が88～88.5

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

円の販価を示した。東浜出しでは88.5～88.7円の玉が打ち出されている。足元では88.7円までの玉に厚みがあるため、88.7円を超える玉に興味を示す業者は少ないようだ。

未課税玉では東浜や荒津、西戸崎出しで、89～90.7円の玉が調達可能となっている。

【他地区】課税玉では、北九州出しで複数の業者が88.5～88.8円を提示し、受注喚起を図っている。一部では向け先限定で87円台の売り物も出ているもよう。このほかには90.5円の提示がある。八代では、89.8～91.6円、佐世保では88.8円の玉が出ている。また、未課税玉では大分で、87円で売りに応じる業者がいる。

宇部では課税玉であれば、民族系元売り玉を扱う業者が85.9～86.2円を提示した。86円前後であれば、一定のオーダーを獲得できるもよう。このほかには88.1円の提示がある。

○重油

【福岡】A重油が89.0～89.9円、LSA重油が89.5～90.4円といずれも前日比0.3円安。

下落。月替わりで販売枠が復活した業者が他社の提示価格を意識し、販価の下方修正に動いた。

3日渡し分までを対象としたA重油は、西戸崎出しで複数の業者が89～89.5円を提示し、買い気を探った。荒津出しでは複数の業者が89.5～89.9円で追随している。複数の業者から89.9円までの玉を手当て可能たなため、89.9円を超えると動意が限られるようだ。

LSA重油は89.5～90.4円。A重油、LSA重油ともこれらの価格帯に該当しない唱えも聞かれたが、広くやり取りされた様子は見られない。

【他地区】北九州出しではA重油であれば、複数の業者が89.5～90.2円を売り唱えた。八代では89～90.2円、大分では86円、佐世保では89円の玉が打ち出されている。北九州、八代、大分のLSA重油はA重油比0.5円高。

また、宇部では民族系元売り玉を扱う業者などが85.8～86円、86.8円の玉が流通している。売れる価格帯は86円前後との声が寄せられた。LSA重油はA重油比0.5円高。

○陸上ローリーラック価格月間平均確定値（25年2月）　※小数点第3位を四捨五入

	ガソリン	灯油	課税軽油	未課税軽油	A 重油	LSA 重油
北海道（油槽所）	86.86	85.78	85.42	－	85.12	－
仙台（製油所）	86.05	85.93	84.94	－	84.96	85.46
千葉（製油所）	84.03	85.18	84.49	85.55	84.76	85.26
八潮（油槽所）	85.29	86.83	85.60	－	－	86.14
川崎（製油所）	84.40	85.18	84.49	85.69	84.76	85.26
横浜（油槽所）	85.78	85.52	84.28	－	－	86.83
中京（製油所）	84.24	85.54	84.47	85.75	84.72	85.22
中京（油槽所）	83.15	85.68	85.00	－	－	85.48
阪神（製油所）	83.73	85.45	84.50	85.82	84.83	85.33
阪神（油槽所）	83.73	85.47	85.19	－	－	85.53
四国（製油所）	85.46	87.09	85.61	－	85.95	86.45
福岡（油槽所）	86.52	88.43	87.19	－	88.23	88.73
2 製油所平均※	83.88	85.32	84.49	85.68	84.79	85.29
3 製油所平均※	84.00	85.39	84.49	85.70	84.77	85.27

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

4 製油所平均(1)※	84.10	85.34	84.49	85.70	84.77	85.27
4 製油所平均(2)※	84.37	85.82	84.77	–	85.07	85.57
5 製油所平均	84.37	85.69	84.71	–	85.00	85.50
油槽所平均	85.22	86.28	85.45	–	86.67	86.54

単位：円/リットル

値は小数点第３位を四捨五入したもの

2 製油所平均＝千葉、阪神

3 製油所平均＝千葉、中京、阪神

4 製油所平均(1)＝千葉、川崎、中京、阪神

4 製油所平均(2)＝千葉、中京、阪神、四国

5 製油所平均＝千葉、川崎、中京、阪神、四国

◎マーケットニュース

○陸上入札=愛知水と緑の公社向け上期納めLSA重油、中川物産が落札

愛知水と緑の公社が28日に開札したLSA重油1,045klの入札は、届け91.8円で中川物産が落札した。前期比で12.9円値上がり。納期は4～9月。

24年10～25年3月1,092klは、同社が届け78.9円で落札している。

○[石油統計速報年1月] 製品需給概要=経産省

	生産	輸入	販売	輸出	月末在庫
ガソリン	3,680,688	270,888	3,351,204	502,126	1,836,749
（前年比）	99.8	89.4	98.3	129.2	102.7
ナ フ サ	1,072,884	2,090,585	2,997,376	5500	1,507,098
（前年比）	84.4	106.0	94.2	47.3	115.7
ジェット燃料油	788,178	39,977	361,667	643,156	647,487
（前年比）	86.2	–	93.6	101.5	91.0
灯　　油	1,365,789	458,944	1,967,359	–	1,994,004
（前年比）	106.7	119.9	102.4	–	98.2
軽　　油	2,829,550	94,793	2,334,998	526,883	1,465,492
（前年比）	95.3	139.9	99.8	123.4	95.6
Ａ 重 油	974,406	4,990	967,679	27,213	765,881
（前年比）	106	–	105.1	3961.1	108
ＢＣ重油	1,162,204	30,102	444,808	521,424	1,207,267
（前年比）	87.2	40.6	74.0	77.7	95.3
合計	11,873,699	2,990,279	12,425,091	2,226,302	9,423,978
（前年比）	96.0	106.8	97.4	104.4	100.8

(in kl)
下段は前年比%
*流通段階を除く

○資源エネルギー庁=産業用・A重油価格月次調査2025年1月

軽油インタンク			
	価格	前月比	JCC 格差
北海道	137.6	+4.1	+29.8
東北	136.8	+3.9	+29.0
関東	131.7	+3.4	+23.9
中部	133.8	+3.9	+26.0

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

近畿	132.8	+3.9	+25.0
中国	132.5	+3.7	+24.7
四国	130.7	+3.4	+22.9
九州・沖縄	136.9	+2.8	+29.1
全国	133.9	+3.6	+26.1
A 重油大型ローリー納入(8kl 以上)			
北海道	103.5	+4.2	+27.8
東北	102.4	+4.4	+26.7
関東	96.7	+3.7	+21.0
中部	96.4	+2.8	+20.7
近畿	98.3	+3.4	+22.6
中国	102.1	+2.8	+26.4
四国	99.7	+3.1	+24.0
九州・沖縄	105.8	+3.8	+30.1
全国	100.1	+3.6	+24.4
A 重油小型ローリー納入(8kl 未満)			
北海道	111.1	+3.9	+35.4
東北	111.1	+4.0	+35.4
関東	107.7	+3.6	+32.0
中部	107.0	+3.5	+31.3
近畿	109.3	+3.6	+33.6
中国	113.8	+3.4	+38.1
四国	111.4	+4.7	+35.7
九州・沖縄	112.3	+3.3	+36.6
全国	110.1	+3.6	+34.4
JCC			**75.7**
単位：円/リットル 消費税抜き 対 JCC 格差は参考値。			

◎お知らせ

○リム創業40周年記念本『エネルギーの歩み』発売のお知らせ

リム情報開発は2月に創業40周年を記念し、『エネルギーの歩み』を刊行いたしました。石油メジャーの誕生から脱炭素化に至るまで、エネルギーの歴史をわかりやすくひも解くとともに、リムならではの市況解説もふまえた充実の一冊です。原油、石油製品、LNG、LPGの貿易統計に加え、年表も資料として掲載しており、業務や勉強に幅広く利用していただけます。この機会にぜひお申し込みください。

定価：33,000円（税込）※送料が別途かかります。お申し込みは以下のリンクから(サンプルあり)。

https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/40book/

リム情報開発株式会社／電話： 03-3552-2411／E-mail: info@rim-intelligence.co.jp

◇弊社ウェッブサイトURLは www.rim-intelligence.co.jp

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415
e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局] Tel: 65-6912-7359
e-mail: lim@rim-intelligence.co.jp

[北京支社] Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725
e-mail:guanhong@rimbj.com

[上海支社] Tel:(86)-21-6760-6330, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2025 RIM INTELLIGENCE CO.

試読 >

お申し込み >

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。